

(別添資料1)

事業所名

こどもみらい光

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

5月

7日

|           |                 |   |    |     |         |         |   |
|-----------|-----------------|---|----|-----|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 |                 | 子どもはみらいの光を合い言葉に、お子様の可能性を信じきって、これからの時代の暮らしやすさ、学びやすさ、そして生きやすさを多層的にサポートしていきます。   |    |     |         |         |   |
| 支援方針      |                 | 子どもの主体性を大切にし、アセスメントを適切に行い、特性や実態に応じ、一人ひとりの育つ力を最大限引き出す発達心理学の理論にもとづいた包括的アプローチを実施します。「わらべうたアプローチ」を活用しつつ、絵本・昔話にもたっぷりふれ、言葉の発達や社会性の発達を促します。家庭的な雰囲気の中でライフスキル・ラーニングスキルを身に着けます。野菜づくりや野山遊び等、心に残る実体験を重ねます。保護者の安心を支えるための相談支援を充実させます。 |    |     |         |         |   |
| 営業時間      |                 | 9時  | 0分 | 18時 | 0分      | 送迎実施の有無 | あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span> |
| 支 援 内 容   |                 |   |    |     |         |         |   |
| 本人支援      | 健康・生活           | ・健康的な生活を送るために支援を行います。また、手洗いや消毒など感染防止に関する支援も行います。お手伝いや野菜づくりなどを通して、生活体験の幅を広げる支援を行います。   |    |     |         |         |   |
|           | 運動・感覚           | ・わらべうたアプローチを活用して、身体のバランス感覚を養ったり、リズムに合わせて身体を動かしたりすることで、認知・身体のコーディネーションを促します。また、工作や折り紙などの活動を通して、視覚や聴覚、触覚に働きかける支援をしていきます。  |    |     |         |         |   |
|           | 認知・行動           | ・個々にあった方法でスケジュールを提示し、見通しを持った生活ができるようにします。<br>・スタッフとのやり取りやゲーム等に取り組んだり、わらべうたを楽しんだりする中で、物の認識を促したり、考える力を育みます。   |    |     |         |         |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ・わらべうたや絵本・昔話、言葉遊び等、多様なツールを通して、音韻意識を高めたり、語彙を増やしていったりするとともに、ことばの表出が困難な場合や発音が不明瞭な場合は、教材を用いて適切な言語表出を促します。また、人との関わりにおいて、人やその場に応じた適切な対応ができるよう、実際の場に応じたやりとりが定着するよう支援していきます。  |    |     |         |         |   |
|           | 人間関係<br>社会性     | ・安心して過ごせる場所づくりをします。模倣あそびをしながら、一人遊びから共同あそびへと移行することにより、役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行います。   |    |     |         |         |   |
| 家族支援      |                 | 相談の実施   |    |     | 移行支援    |         | 所属施設との情報交換  |
| 地域支援・地域連携 |                 | 関係機関との連携  |    |     | 職員の質の向上 |         | 職員研修の実施   |
| 主な行事等     |                 | 避難訓練 年2回程度  |    |     |         |         |   |